

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、研究に関するご質問、診療情報等を研究に利用または提供されることを希望されない場合には、下記の問い合わせ先まで、お問い合わせ下さい。

研究課題名	感染症診断支援（diagnostic stewardship；DS）推進を目的とした当院での取り組み
当院の研究責任者	薬剤部 主任薬剤師 尾花 祥世
他の研究機関及び研究責任者	なし
本研究の目的	感染症診療においては、微生物検査結果に基づいて治療方針が決定される。特に、抗菌薬投与開始前に起炎微生物を同定することは、適切な抗菌薬選択および抗菌薬適正使用の推進において重要である。当院の Antimicrobial Stewardship Team（AST）では、感染症診断支援推進の一環として、微生物検査提出率の向上を目的とした取り組みを行っている。本研究では、微生物検査提出を促す啓発介入を実施し、その介入前後における微生物検査提出率の変化を後方視的に評価し、当該取り組みの有効性を検討する。
研究の方法 （対象者、利用する試料、情報等）	取り組み前（2023年9月～2024年8月）と取り組み後（2024年9月～2025年8月）で、微生物培養検査（血液培養、その他培養）の提出率、血液培養陽性率、抗菌薬使用量（AUD、DOT）を比較した。対象は注射用抗菌薬を使用した全入院患者とし、クリニカルパスに基づく予防的抗菌薬投与は除外した。有意水準は $P < 0.05$ とした。
試料、情報等の他研究機関への提供及び提供方法	なし
研究期間	2023年9月～2025年8月
個人情報の取り扱い	個人情報については、解析に際して匿名化を行い、個人が特定されることはないよう十分に配慮する。
本研究の資金源及び利益相反	なし
お問い合わせ先	公立学校共済組合近畿中央病院 薬剤部 尾花祥世 072-781-3712(代)
備考	なし